

産 業
活力と個性のある
むらづくりを目ざして

● 農林水産業の振興 ●

本村における新食糧法対策の推進については、基本的には次のように考えております。営農の複合化にも配慮しながら将来とも良質米生産地としての優位性を発揮するため、より良質の「新潟米」の生産振興を図ってまいります。

次に本村への転作等目標面積は、前年度比七十二・八四ヘクタール増の二百八十四・三一ヘクタールの配分となり、転作率は二十三・三四%であります。本対策の転作等目標面積の実施を円滑に推進するため地域の条件に応じた生産性の高い転作物の導入を基本としながら、新たに地域調整推進業として制度化された「とも補償事業」を推進してまいります。



▲地域の特性を生かした生産振興を！

主な事業と予算額(千円)	
○新生産調整推進事業費	12,971
○農業振興関連事業費	2,472
○農地費	134,839
○国土調査費	28,134
○農村総合整備事業	129,777
○林道開設事業	90,901
○漁港及び漁港環境施設整備負担金	45,857

農地関連事業につきましては、継続事業として、県営土地改良総合整備事業(栄新谷地区)・県営ほ場整備事業(岩室地区・和納赤縮地区)ほかに、国・県営かんがい排水事業、農道敷砂利事業を、新規事業といたしましては、県営一般農道整備事業(夏井・井田地区)・県営農業用河川工作物応急対策事業(和納第二地区)等が予定されています。

地籍調査につきましては、平地の残り約二割(石瀬・金池・樋管の一部)のうち、大字石瀬が二年目を迎え調査、測量及び図面作成閲覧等を実施いたします。

農村総合整備事業につきましては、継続事業として集落道の改良及び舗装工事三路線と農業排水、集落排水の三路線の整備を実施します。

林業振興につきましては、継続事業として取り組んでおります林道間瀬開ノ木平線の早期開通に向け工事を進めてまいります。

水産業の振興につきましては、機能性に富んだ漁港の整備を目指して、県営間瀬漁港修築事業を第九次整備計画により実施いたします。間瀬海岸周辺埋立造成事業につきましては埋立計画に基づき、より良い土地利用計画を具体的に進めてまいります。

● 観光商工の振興 ●

昨年実施いたしました岩室温泉の掘削工事につきましては、湯温五十五・三℃、湯量毎分五百七十九と当初の予測を上回る成果を得ました。本年度は湧出した温泉を有効に活用すべく動力装置の工事を実施いたします。



▶新しい観光ポスター

間瀬・田の浦温泉や海水浴を中心とする観光も、その特色を生かして通年化へと定着しつつありますので、更に受け入れ体制とその基盤を図ってまいります。

次に商工業の振興については、優れた経営感覚を持つ担い手の育成が重要であることから、今年も人材育成事業を行います。また地方産業育成資金の融資事業の充実など、村内産業の育成強化に努力してまいります。

主な事業と予算額(千円)	
○観光費及び観光宣伝事業費	58,501
○地方産業育成資金貸付金	59,200
○商工会補助金	7,000
○地域商業振興構想策定事業費	460
○中小企業大学受講助成金	300

生活環境
毎日のくらしを
快適に安全に

● 土木振興 ●

主な事業と予算額(千円)	
○村通整備(維持・改良舗装)事業費	96,700
○県道関連事業負担金	7,000
○道路台帳整備電算委託料	2,000
○除雪対策費	8,769
○河川海岸維持工事費	2,500

村道整備関係については、維持修繕等十五路線、道路改良等として改良工事四路線舗装工事十四路線を予定しています。

県道関係については、新潟・五泉・間瀬線のJR線より東へ消雪パイプの設置、五千石・巻線の原地内の拡幅、また新潟・寺泊線のバイパス方線の調査、測量等がそれぞれ予定されています。

河川海岸維持工事で西川河川の夕栄橋付近の護岸工事を、また海岸環境整備事業としては、波消ブロックの設置が予定されています。



▲着々と整備されるバイパス...

● 総務一般 ●

昨年四月より開館いたしました遊雁の湯「よりなれ」は村内外の多くの方々からご利用いただき大変喜ばれています。今後、新温泉の供給により益々、地域づくり事業の拠点として、周辺施設の活用を図りながら推進してまいりたいと思っております。平成六年度より三か年計画で進めてきましたコンピュータ導入については、財務会計業務が平成八年度当初予算より稼働し、八年度農家基本台帳で完了する予定です。また、職員の人材育成ですが、多様化する住民ニーズに適切に対応するため、職員の資質向上を目的として職員研修には積極的に参加させています。八年度からは町村人事事務組合が行う海外研修に職員を派遣したいと考えています。



▲いつ起きるかわからない災害に備えて...

より稼働し、八年度農家基本台帳で完了する予定です。また、職員の人材育成ですが、多様化する住民ニーズに適切に対応するため、職員の資質向上を目的として職員研修には積極的に参加させています。八年度からは町村人事事務組合が行う海外研修に職員を派遣したいと考えています。

平成七年度に買収しました岩室駅前国鉄清算事業団用地の活用については、現

在の駐車場を全面改修とし、軽量鉄骨造平屋建て一八九・二平方メートル、収容台数自転車一四四台、バイク三〇台の施設を設置し、通勤、通学者に配慮とともに放置自転車の一掃を図るものです。残地については、周辺の状況を考慮し、駐車場の整備を含めて計画推進してまいります。

又、設置以来難聴地域としてご迷惑をおかけしてまいりました間瀬地区の防災無線施設について、旧間瀬中学校跡地に中継局設置工事を行い、難聴の解消となお一層の防災体制を強化します。

次に消防関係については、継続的に実施しています防災まちづくり事業として、和納地区に防火水槽一基を予定し、防火用水確保に努めてまいります。南部消防事務組合の負担金については、人件費、機械施設等の更新に伴い、対前年比五・二%の伸びで計上しています。また、新広域消防推進事業については、燕市が本事業より撤退したものの、南部消防事務組合加入の三町村に、分水町・寺泊町を加えた五町村で継続することを確認しています。平成九年四月一日の新広域消防事務組合としての発足に向けて、消防適正配置、新本部区域等について検討してまいります。

主な事業と予算額(千円)	
○健康増進センター管理費	30,746
○OA電算機器保守委託料	10,680
○広報いわむろ発行費	4,721
○固定資産課税資料整備委託料	26,600
○岩室駅前輪工場工事費	11,330

下水道事業会計

予算総額 5,077万円

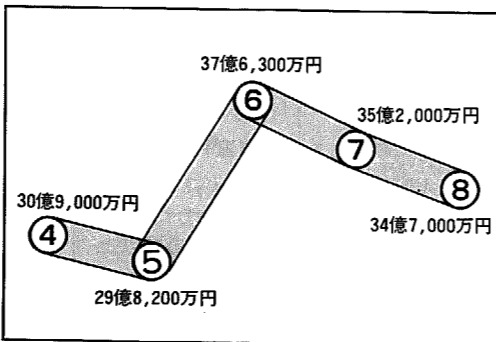
基本計画策定業務及び事業認可設計業務を計画し、本村の下水道の骨格を定め地域の理想的な下水道像を形成するために、基本計画策定業務委託をします。また平成4年度事業採択となりました、西川流域下水道事業も並行して進んでいます。

水道事業会計

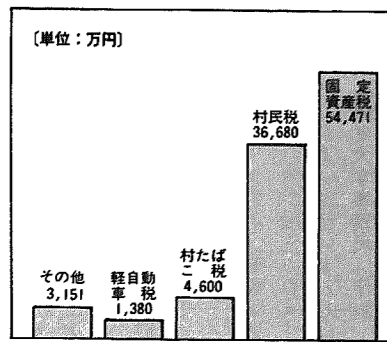
収益的収入 3億314万円 資本的収入 721万円
収益的支出 3億314万円 資本的支出 1億286万円

建設改良費については、老朽管対策として本年度も引き続き管路の更新を進め、一層の有取率向上と安全な水を安定的に供給したいと考えています。また、管路の更新には、事業の効率的運営と内部留保に努め、管路更新事業のための財源確保に努力してまいります。

予一般会計当移初



村税の内訳



以上、今回ご紹介した内容は、先月開会された村議会第一回定例会において、鷲沢村長が述べた「平成八年度施政方針」から抜粋したものです。